

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「基本を学び、地域と共に」

高田ロータリー今年の
スローガン

「ロータリーを識り、
奉仕を实践し友情を深めよう」



人類に
奉仕する
ロータリー

2016～2017年度

国際ロータリー会長 ジョンF.ジャーム

2560地区ガバナー 田中 政春

高田ロータリー会長 本山 秀樹

幹事 中田 正

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号

TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534

メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp

例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員

加藤 卓也 伴 長門 齊藤 光雄 佐藤 芳徳

第15回例会 ■ 10月21日(金)

No.15

会長挨拶 ● 本山 秀樹



16日の日曜日に、社会奉仕事業として青田川の紅葉と儀明川小彼岸桜の枝の剪定と肥料を足す作業を行いました。日曜日にも関わらず、20名を超える会員の皆様、青田川を愛する会、高田ローターアクトの皆さんに参加いただき共に気持ち良い汗を流すことが出来ました。どちらもスッキリ整備され、青田川の紅葉はこれから紅葉を迎えます。地域の人達の、憩いの場になればと思います。

さて、今日の例会は前半をクラブ協議会とし、11月5日に開催される地区クラブ会長会議に懸けられる案件について、ご意見をお聞きしたいと思います。1. 地区ガバナー事務所の固定化、2. ガバナー選出の分区輪番制について、3. 地区改善検討委員会の常設についてです。忌憚のないご意見をいただき最終的には理事会でクラブの考えをまとめ、地区クラブ会長会議に臨みたいと思います。

出席報告

出席率 97.92%

メイクアップ

本山秀樹君・中田 正君・東山昶也君・福田 聖君・堀井靖功君・大谷光夫君・齋藤尚明君・佐藤

憲二君・宮澤英文君・橋詰敏一君・飯塚宏佳君・加藤卓也君・小林幹央君・小池 豊君・高坂光一君・牧野章一君・大島 誠君・佐藤教彦君・田中正人君・山田 守君・島元 亨君 (10/16 青田川もみじ・儀明川サクラ保全整備活動)
高坂光一君 (10/22・23 ライラ研修会)

委員会報告

出席ニコニコBOX委員会

小林 元君——明日、明後日に「越後謙信SAKEまつり」が開催されます。酒好きのロータリアンの皆様、御来場をお待ちしております。当社ブースにもお越しいただきお買い上げください。

田中正人君——謙信公の「勝負飯」と「勝どき飯」で取材を受けました。11/6(日)10:55 読売テレビ (関西ローカル)「旅ぷら」という番組で、ゲストはタレントの宇梶剛士さん、パパイヤ鈴木さん。11/14(月)21:00 BS12で番組名「せいこうの歴史再考」ナビゲーターは作家のいとうせいこう氏で其々放送されます。

謙信公をテーマにしたお食事を通して、お客様に「上越」＝「謙信公の里」であることを感じて頂ける一助になればと思っています。是非一度、皆様方にもお召し上がりいただき、ご感想をお聞かせ頂ければ幸いです。

職業奉仕委員会

11月4日健康診断と移動例会（上越医師会館）

のご案内

健康診断 8:30～（希望者のみ）

食 事 12:00～12:40

（医師会館2F ラウンジ）

例 会 12:45～13:30

（医師会館2F 会議室）

会員インフォメーション

大島 誠君——11月3～5日 高田仲町ランチ+バルのご案内

幹事報告

配布物：週報No.13・14・高田仲町ランチ+バルちらし・上越はつらつ元気塾のご案内

回覧物：地区RA ニュースレター

クラブ協議会

11月5日 第2560地区クラブ会長会にて次の3件について地区の方向性の賛否が問われます。(①地区事務所の固定化②ガバナー選出における地区輪番ルールの設定③地区改善検討委員会の常設化) 会長会開催に伴い、本日の例会にてこの議題の報告及び質疑応答が行われました。

会員卓話 昭和から平成の婚礼変化について



加藤 公一 君

皆さんこんにちは。私も入会させて頂き半年を過ぎメンバー皆様のお陰で諸活動を楽しませて頂いております。

現勤務先は約36年間、今年9月から葬祭部門に移動しておりますが、約30年冠婚部に従事していましたので「昭和から平成の婚礼変化について」お話しします。

現状のデータによると、昨年度婚姻件数は上越市のみで約870件、昭和時代の年間平均1,200件と比べると330件程少なくなっています。人口も減少し東京オリンピック開催年度2020年には上越市の人口は約19万人と予想されています。先々どのような商売にしても頭の痛い問題ではないかと危惧しています。

現在皆さんも婚礼に参加され変わったなあ？と思われる事が沢山あるのではないのでしょうか？まず昭和の時代100%媒酌人がおりましたが今は全くありません。当人同士二人が幸せならば両家の繋がりとは二の次であると考えられています。

続いて「結納」ですが、正に家と家との繋がりを象徴する儀式のひとつであったと記憶していますが、平成に入り変化をみせ両家顔合わせ食事会なるものになり、両家の親戚まで伝えることなく家族同士が分かり合えれば良いとの考えからこれも本人主導型と考えます。結納品はフルセットで9品目、7品・5品・3品と準備があり、特におめでたい結婚については割り切れない数字を用いるといわれていますが、当国では「八」は末

広がりといわれ八を用いることもあったようです。特に数字に関し私が記憶しているのは、結納金はどの位持っていったらとどなた様からお尋ね頂く質問のNo.1でした。少なくとも多くてもダメと金額にも相手様を思いやる気持ちが常に現れていたことが記憶に残っています。この数字一つにしても意味を持っており、昔から継承されてきた物事には必ず意味があり、その意味を知ることにより一つ一つ納得できる事がまだまだ沢山の教えとして残っているのではないのでしょうか？結納の一番目にくる「おおのし」の水引に鶴がついていますが、ふと見ると鶴が下を向いているため逆さまな見た目になりますが「鶴が舞い降りる」という謂れからで、見た目から判断し逆さまにする「鶴が舞い上がって行ってしまった」となるわけです。

そして結婚式当日は、平成になってから殆どのカップルは普段着とラフな格好で会場入りし着替えをされるのが当然の姿です。昭和の時代は、花嫁は早起きをし自宅で打掛姿に着付けをし、その後嫁ぎ先へ「仏壇参り」なる一連の動作を「おつき」と呼び行ってきました。今思うと大変良かった事柄と感じ得ません。また、花嫁は草履を脱いでから一旦揃えずそのままにして上がらせて頂く事が作法ようになっていました。それは、私はこの家に嫁ぎます、草履を外へ向けないのはこの家から出ませんとの意思の表れでした。

今は十人十色の時代であり当人始動で進んでいます。

これからもどの業種においてもお客様の要望は限りなく続いていくと考えます。そのリクエストにどれだけ応え新たな提言ができるかがお客様満

足度を 120% 上げる事となります。上手くやって当たり前、お客様の予想をはるかに超える対応が出来るかが必須の時代です。

青田川・儀明川の保全活動を行いました

社会奉仕委員会 委員長 小林 幹央 君

ロータリー財団地区補助金事業として、10月16日(日)、青田川・儀明川保全整備活動(青田川もみじおよび儀明川コヒガン桜の枝剪定等)を行いました。当日は爽やかな秋晴れに恵まれ、高田ロータリークラブ22名の他、協力団体として「青田川を愛する会」5名、高田RAC11名と共に、委託業者による剪定作業の後片づけや清掃作業などを行い、気持ちの良い汗を流しました。



第16回ライラ研修報告 記憶に残った発言「上から三年、下から三日」

青少年奉仕委員長 高坂 光一 君

10月22・23両日、新潟市STEPに於いて開催された「第16回ライラ研修」に三名の研修生と参加してきました。

今年は元水球日本代表主将の基調講演に続き、日本銀行新潟支店長、新潟三越伊勢丹・イタリア軒・新潟テレビ21の各代表取締役等をパネリストに迎え団体個別の質疑応答形式でリーダーシップ研修を行いました。時折パネリストの方々が困惑する場面もありましたが、丁寧に質問対応される姿を見て、研修生にとって今は気づかなくても将来必ず糧になる素晴らしい経験を積んでいるものと感じました。

最後に、ライラ研修実行委員長の塚田正幸氏から、準備の段階から新潟RACと内容を協議し進めてきたとの話がありました。ライラ研修は青少年奉仕活動の中で、唯一RCが主体となって運営するものではありませんが、このような形も良いのではと感じ充実した時間を過ごすことができました。以上、報告とさせていただきます。

